倉吉市中心市街地活性化基本計画(素案)の概要

■ 計画期間 平成 27 年 7 月 ~ 平成 32 年 3 月まで (4 年 9 カ月)

■ 基本テーマと活性化の基本的な方針

中心市街地は、倉吉市の産業・経済・社会的な中心として重要な地区であり、その再生は倉吉市によって喫緊の課題である。

これからは、多様な人々にとって生活しやすい環境づくりを図ることにより、若年層をはじめ、市外からの居住者の転入等、定住人口の増加を図るだけでなく、歴史的な環境をいかした観光地としての一層の魅力向上を図ることにより、交流人口の増加を図る必要がある。また歴史的な建築物をはじめとする、既存のストックを有効に活用していくこと等により、今後の都市型産業振興の流れを作っていく必要があり、基本計画の策定を通じて、将来へむけての中心市街地再生の目標の共有と、戦略的な視点にたった、効果的な事業の実施計画を立案する必要がある。

「みんなでつくる活気とにぎわいの場、暮らしよい元気な中心市街地」

倉吉市固有の歴史・文化、県中部地域の玄関口という特性を活かし、地域のやる気と創意工夫のもとで個性豊かな商業活動や新たな起業が活発に展開され、地域経済が着実に循環するまちとして、居心地がよく、歩いて楽しく、暮らしよい活気とにぎわいのある中心市街地。

基本方針1 : 安全・安心で快適に暮らせる生活中心のまちづくり

基本方針2 : 生活文化の薫る歴史的な街並みを活かした観光・交流拠点のまちづくり

基本方針3 : 都市型産業の育成やビジネス創出へとつながるまちづくり

■ 計画区域

◇中心市街地の区域設定の基本的な考え方

歴史的なまちとして形成されてきた打吹地区と、鉄道駅等の交通利便性を生かし発展してきた駅周辺地区と、これらをつなぐ地域において、商業的機能のほか多様な都市機能が集積され、また公共交通機関である路線バスが数多く運行している区域を計画区域として設定。

◇各地区の役割

• 駅周辺地区

JR 倉吉駅が鉄道・長距離バス、路線バス 等の交通の拠点として機能しているほか、病院や大規模商業施設の立地、市民 の生活を支える機能が集積しており、鳥 取県中部地域の中心都市・倉吉の広域的 な玄関口としての役割を果たしている。

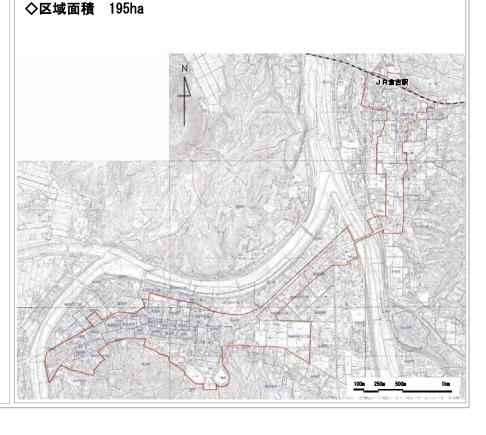
• 打吹地区

倉吉の歴史的な中心として、市役所等の 行政施設、博物館や公園などの都市福利 施設の立地、白壁土蔵群(伝統的建造物 群保存地区)を中心とした歴史的な街並 みが本市の観光の中心的な拠点としての 役割を果たしている。

・2つの地区をつなぐ地域

文化交流複合施設「パークスクエア」な どの公共的機能が存在しており、中部圏 域における中心的な機能を果たしてい る。

各地区は相互に補完的に機能しながら倉 吉市の経済社会活動をけん引する機能を 果たしている。



■ 中心市街地の活性化の目標と取り組みの方向性

目標 1. 誰もが持続的に住みたくなる暮らしやすい生活環境を備えたまち

- ○買い物や医療など日常生活を支える機能の導入・誘導や質の高い生活サービスの提供
- ○若い世代の感覚にも適応した新しい居住の場の提供
- ○多様な人々が居心地よく時間を過ごせる環境づくり
- 〇バリアフリーやユニバーサルデザインの推進、公共交通の利便性、快適性の向上

【内容】既存商業施設の再活性化などを含め、徒歩等によっても日常的な買い物ができる環境の充実や、医院・診療所などの日常生活を支える医療機能の充実など、生活に必要な機能の導入・誘導を進め、多様な世代の人々にとって住みやすい、質の高い生活サービスを提供できる環境を整備する。歴史的な市街地においては、空き家等のストックを有効に活用して、昔の建物の雰囲気を楽しみながら住まうことができる住宅等へのリノベーション**を進めることにより、UターンやIターンを志向する若い世代の感覚にも適応した新しい居住の場を提供する。併せて、高齢者サロンなどのコミュニティスペースの充実により、多様な世代・境遇の人々が居心地よく、快適に時間を過ごせる環境づくりを行うことにより、消費と交流を促す。また、バリアフリーやユニバーサルデザインを推進していくとともに、駅周辺地区と打吹地区とを連絡する公共交通バスの利便性、快適性の維持・向上を図るなど、誰もが安心して中心市街地を訪れ、移動できる環境を整える。

目標2. 歴史的・文化的資源を活かした回遊型観光のまち

- 〇伝統的建造物群の利活用や歴史的・文化的な資源の発掘による観光地としての魅力向上
- 〇やる気のある若年層や女性、高齢者などの様々な主体のアイデアや事業創出意欲を取り込んだ観光振興や 観光ビジネスの拡大
- 〇体験型観光ニーズに対応したプログラムの提供、倉吉の環境を生かした滞在型観光の推進
- ○歴史的な市街地の歩行環境等、回遊型の観光を行いやすい環境整備

【内容】伝統的建造物群を観光・交流の拠点として利活用し、空き家・空き店舗の活用やリノベーション**による新たな集客施設を整備するとともに、潜在的な歴史的・文化的資源を発掘し、新たな視点や手法により観光資源として活用することで、一層の魅力の向上を図る。利活用にあたっては、やる気のある若年層や女性、高齢者などの様々な主体のアイデアや事業創出意欲を取り込むことを前提に、まちなかで新規にビジネスを起業できる環境を整備し、観光振興とともに観光ビジネスの拡大を図る。また、体験型の観光ニーズへと対応するための多様なプログラムの提供と町家等を活用した宿泊機能の充実など、倉吉の環境を生かした滞在型観光を進め、あわせて、歴史的な市街地の歩行環境の整備をさらに進めることにより、回遊型の観光を行いやすい環境を整備する。また、地域に立地する大学等の教育・研究機関等の知的な資源、人材の集積を生かし、市民の文化活動や生涯教育の場としての中心市街地の機能を充実させることにより、周辺地域からも日常的に人が訪れるまちとしていく。

目標3. 小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち

○小規模でも高付加価値な企業の誘致や起業の支援

○話題性、メッセージ性、影響力のある専門家などに対する活動の場の整備・提供

【内容】既存にある業種の健全な維持を図るとともに、小規模でも高付加価値な事業活動を行う企業の誘致や、新たな成長・雇用の源泉となる起業の支援・促進を図ることにより、時代の流れを作っていく企業や、新たな働き方を求める人など、産業・経済活動を担うプレイヤーを積極的に招き寄せ、地域型の事業振興を図る。また、アーティスト、クリエイター、デザイナーといった、話題性やメッセージ性、影響力のある専門家等についても、活動の場(アトリエや創作活動の場等)を整備・提供するなど、積極的にその誘致に取り組んでいく。

※リノベーション…既存の建物の用途や機能を変更するために必要な改修を行い、性能を向上させて価値を高めること。

■ 中心市街地の活性化の目標と数値指標

目標	数値指標	指標値(H25 年度)	目標値(H31 年度)
誰もが持続的に住みたくなる	中心市街地全体の	△44人	0人(現状維持)
暮らしやすい生活環境を備えたまち	人口の社会増減	(トレンドによる減少)	0人(玩伙雅行)
歴史的・文化資源を活かした回遊型観光のまち	中心市街地における	375, 500 人/年	394, 300 人/年
	観光入込客数		
小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち	中心市街地における	平均5件/年	平均8件/年
	創業事業所数		

■ 重点施策

- 歴史的景観整備事業
- 駅北通り線整備事業
- 観光駐車場整備
- 打吹公園整備事業
- · 倉吉淀屋活用事業
- ・リノベーション居住推進事業
- ・住民運営サロン

- ・(仮称) シニアステージ上井 (サービス付高齢者向賃貸住宅)
- ・倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業
- 打吹正宗復興事業
- ・倉吉博物館特別展ほか展示会
- ・地域の暮らしを支える商店街づくり事業
- 地域産業活性化推進事業
- ・ 倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー設置事業 等

